(別表1) 主な内容・講師

	内 容	講 師
基調講義	「地域におけるボランティア活動の意義」	放送大学愛媛学習センター長・ 愛媛大学名誉教授 讃岐 幸治
情報交換	「地域のボランティア活動を推進する 施策の現状と課題」	国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター
ケーススタ ディⅠ (学習成果を 地域に生かす ボランティア 活動)	＜事例発表・研究協議Ⅰ＞ ① 「ビバホールステージオペレーター 養成講座」 ② 「日本語の部屋」	兵庫県養父市教育委員会社会教育課 主幹 藤原 弘幸 茨城県県北生涯学習センター 総務グループ地域連携チーム リーダー 永井 泰子 ＜助言者＞ 全国体験活動ボランティア活動総合推進 センター コーディネーター・ 水戸ユネスコ協会 副会長 中根 惇子
ケーススタ ディⅡ (学校支援ボ ランティアフ ォーラム)	＜事例発表Ⅱ・シンポジウム＞ ① 「秋田県が進める学校支援ボラン ティア活動」 ② 「学校支援ボランティア制度」 ③ 「コンビネーションプロジェクト」 (コミュニティ・スクール) ④ 「狭山市学校支援ボランティアセン ターの取組」	＜事例発表・登壇者＞ 秋田県教育庁生涯学習課社会教育班 社会教育主事 糸田 和樹 千葉県木更津市教育委員会学校教育課 主幹 武田 重雄 福岡県春日市立春日西小学校 校長 今村 隆信 狭山市学校支援ボランティアセン ター センター長 坂井 敬一 事務局長 諸井 寿夫 コーディネーター 文教大学副学長・人間科学部長・教授 野島 正也
ケーススタ ディⅢ (ボランティ ア活動で地域 を豊かにする 仕組みづく り)	＜事例発表・研究協議Ⅲ＞ ① 「子ども大学の取組」 ② 「大野子どもクラブ(ビッグ・フ ィールド大野隊)」	＜事例発表＞ 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 主任社会教育主事 矢島 久 広島県廿日市市大野子ども体験活動・ボ ランティア活動支援センター 大野子ども クラブ(ビッグ・フィールド大野隊) コーディネーター 川田 裕子 ＜助言者＞ 全国体験活動ボランティア活動総合推進 センター コーディネーター・ 敬愛大学国際学部 特任教授 坂東 侑司
特別講義	「地域を活性化させるボランティア活動を 支援するには」	全国体験活動ボランティア活動総合推進 センターアドバイザー・ ガールスカウト日本連盟千葉県支部 支部長 重 政子

(別表2) 平成22年度ボランティア活動推進研究セミナー・学校支援ボランティア推進フォーラム日程表

月/日 (曜日)	9:30	10:00	10:30	11:30	11:45	12:45	14:00	17:15	
11/10 (水)	受付	オリエンテーション	【基調講義】 「地域におけるボランティア活動の意義」 放送大学愛媛学習センター長 愛媛大学名誉教授 讃岐 幸治	【情報交換】 「地域のボランティア活動を推進する施策の現状と課題」 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター	【ケーススタディⅠ】学習成果を地域に生かすボランティア活動 【事例発表・研究協議Ⅰ：事例発表30分×2、質疑応答20分、研究協議60分、発表25分、まとめ15分、休憩15分】 ①「ビバホールステージオペレーター養成講座」 兵庫県養父市教育委員会社会教育課 主幹 藤原 弘幸 ②「日本語の部屋」 茨城県県北生涯学習センター 総務グループ地域連携チーム リーダー 永井 泰子 助言者：全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター・ 水戸ユネスコ協会 副会長 中根 惇子				
11/11 (木)	受付	【ケーススタディⅡ】学校支援ボランティア推進フォーラム 【事例発表Ⅱ：事例発表30分×4、質疑応答30分、休憩15分】 ①「秋田県が進める学校支援ボランティア活動」 秋田県教育庁生涯学習課社会教育班 社会教育主事 糸田 和樹 ②「学校支援ボランティア制度」 千葉県木更津市教育委員会学校教育課 主幹 武田 重雄 ③「コンビネーションプロジェクト」(コミュニティ・スクール) 福岡県春日市立春日西小学校 校長 今村 隆信 ④「狭山市学校支援ボランティアセンターの取組」 狭山市学校支援ボランティアセンター センター長 坂井 敬一 事務局長 諸井 寿夫				【シンポジウム】 「学校支援ボランティア活動から地域に広がる力」 コーディネーター 文教大学副学長・人間科学部長・教授 野島 正也 登壇者 ①秋田県教育庁生涯学習課社会教育班 社会教育主事 糸田 和樹 ②千葉県木更津市教育委員会学校教育課 主幹 武田 重雄 ③福岡県春日市立春日西小学校 校長 今村 隆信 ④狭山市学校支援ボランティアセンター センター長 坂井 敬一 事務局長 諸井 寿夫			
11/12 (金)	【ケーススタディⅢ】ボランティア活動で地域を豊かにする仕組みづくり 【事例発表・研究協議Ⅲ：事例発表30分×2、質疑応答20分、研究協議60分、発表25分、まとめ15分、休憩15分】 ①「子ども大学の取組」 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課 主任社会教育主事 矢島 久 ②「大野子どもクラブ(ビッグ・フィールド大野隊)」 広島県廿日市市大野子ども体験活動・ボランティア活動支援センター 大野子どもクラブ(ビッグ・フィールド大野隊) コーディネーター 川田 裕子 助言者：全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター・ 敬愛大学 国際学部 特任教授 坂東 信司		【特別講義】 「地域を活性化させるボランティア活動を支援するには」 全国体験活動ボランティア活動総合推進センターアドバイザー・ ガールスカウト日本連盟千葉県支部 支部長 重 政子		閉会式				

情報交換会